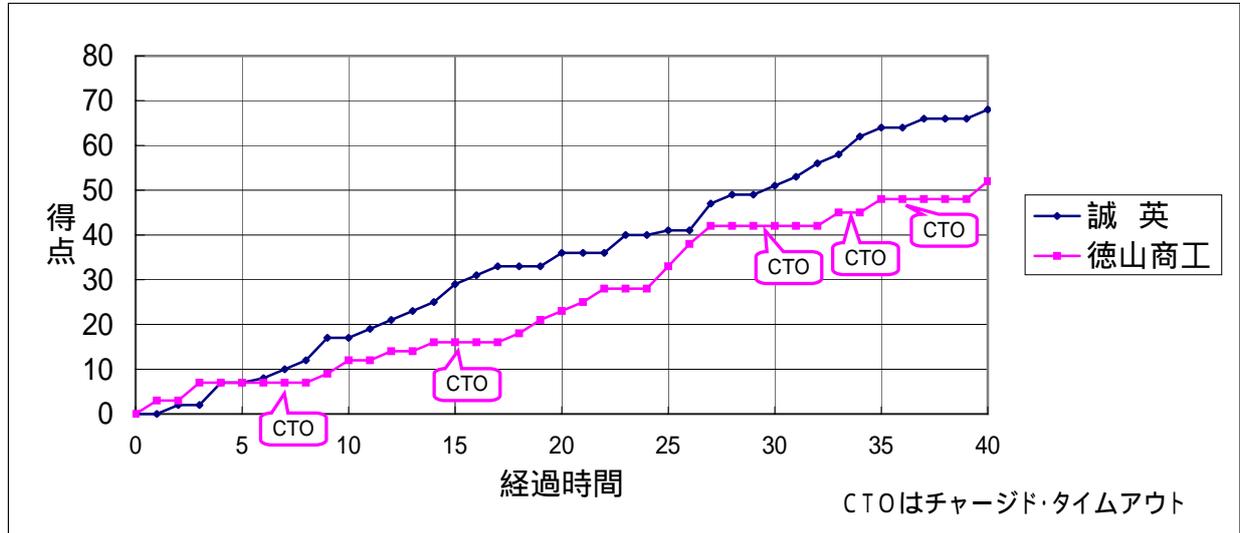


大会名	第37回全国高等学校バスケットボール 選抜優勝大会山口県予選会 兼 山口県高等学校選手権大会	main4	14:50	女子決勝
		誠英 68	$\left(\begin{array}{r} 17 - 12 \\ 19 - 11 \\ 15 - 19 \\ 17 - 10 \\ - \end{array} \right)$	52 徳山商工
期日	2006年(平成18年)11月18日(土)			
会場	やまぐちリフレッシュパーク			

主審 高木直樹 副審 有澤重行



誠英

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	田中優美	11	1	4	0	1
5	藤本茉菜香	18	0	8	2	4
6	樋口桃子	0	0	0	0	0
7	藤井美沙	0	0	0	0	0
8	西田亜由美	2	0	1	0	3
9	濱本里美	0	0	0	0	0
10	藤井志帆	0	0	0	0	0
11	上田安奈	0	0	0	0	0
12	松富仁美	0	0	0	0	0
13	前田清華	27	1	10	4	3
14	松森明日香	0	0	0	0	0
15	大城戸哲子	3	1	0	0	2
16	岡歩	7	1	2	0	0
17	林裕里	0	0	0	0	0
18	西村佳織	0	0	0	0	0
コーチ 小松徹						
合計		68	4	25	6	

徳山商工

No.	氏名	点	3P	2P	FT	F
4	河野夏美	17	4	2	1	3
5	平川敬子	9	3	0	0	2
6	塚本愛未	0	0	0	0	0
7	浅田早貴	8	0	4	0	2
8	宮本悠希	10	0	3	4	1
9	栢麻里奈	0	0	0	0	0
10	福田麻衣子	4	0	2	0	2
11	山本由実	0	0	0	0	0
12	船木美奈	4	0	2	0	1
13	萱原美香	0	0	0	0	0
14	田中成美	0	0	0	0	0
15	藤本結香	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ 今田充						
合計		52	7	13	5	

はスターター(はキャプテン) 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦評

王者誠英に徳山商工がどう食い下がっていくかが楽しみな戦い。1Q両者マンツーマンでスタート徳山商工#5の3Pで始まる。誠英#13の1on1を中心に攻める。対する徳山商工は5アウトのミートからの1on1でオフェンスを展開。残り1、徳山商工#5の3Pが決まり17-12と誠英がリードして終了。2Q誠英#13のジャンプシュートが止まらない。そのまま突き放すかと思われたが、徳山商工がオフェンスの形を変え10点差でついていく。誠英はインサイドを中心に得点を重ね36-23と誠英リードで前半終了。3Q徳山商工ゾーンプレスやマンツーマンなどチェンジングディフェンスで誠英のリズムを変えようとする。残り4、徳山商工#4の3Pで3点差と追い詰めるがすかさず誠英#15が3Pを入れ返し6点差に戻す。その後は一進一退の攻防が続いて52-41と誠英リードで終了。4Q誠英もゾーンプレスからゾーンをひき相手のミスを誘う。残り7、14点差となったところで徳山商工タイムアウト。その後も誠英は#5のゴール下、#13のジャンプシュート等で加点し点差を広げる。徳山商工プレスをかけるが、誠英は落ち着いてボールを運び、そのまま誠英は68-52と徳山商工を引き離して試合終了。誠英は2年ぶり16回目の全国選抜大会の切符を手にした。全国大会での活躍を期待したい。

記載者 枝折康孝 (所属) 山口県高体連バスケットボール部